

# 2007年日中国際産業連関表からみ た経済構造の比較

---

2012年3月2日

日本アプライドリサーチ研究所

# 1.2007年の日中の経済構造

○日本及び中国の生産額(USDドル換算、名目値。)

➤ 2007年日中表からみた日中の国内生産額は、日本が8兆1900億ドル、中国が10兆8488億ドルで、中国は日本の約1.3倍の生産規模

○日本及び中国の付加価値額

➤ 日本及び中国の2007年の粗付加価値額(GDPに相当)をみると、日本は4兆1874億ドル、中国は3兆4987億ドルで、日本は中国の約1.2倍の規模

表1 2007年日中国際産業連関表

(単位: 億ドル)

	中間需要			最終需要						国内生産額	
	日本	中国	計	日本			中国				
				国内	ROW向***	計	国内	ROW向****	計		
日本	34,523	1,097	35,620	39,528	6,458	45,986	293		293	46,280	81,900
中国	558	64,533	65,091	744		744	30,263	12,391	42,654	43,398	108,488
国際運賃・保険料*	16	24	41	15		15	5		5	20	61
ROW	4,604	7,705	12,310	1,311		1,311	1,290		1,290	2,601	14,911
輸入税**	324	142	466	170		170	69		69	239	705
中間投入総計	40,026	73,501	113,527	41,767	6,458	48,225	31,921		44,312	92,537	206,064
粗付加価値計	41,874	34,987	76,861								
国内生産額	81,900	108,488	190,388								

注1 \*国際運賃保険料は日中交易部分に関するもの

注2 \*\*輸入税は全ての輸入にかかるもの

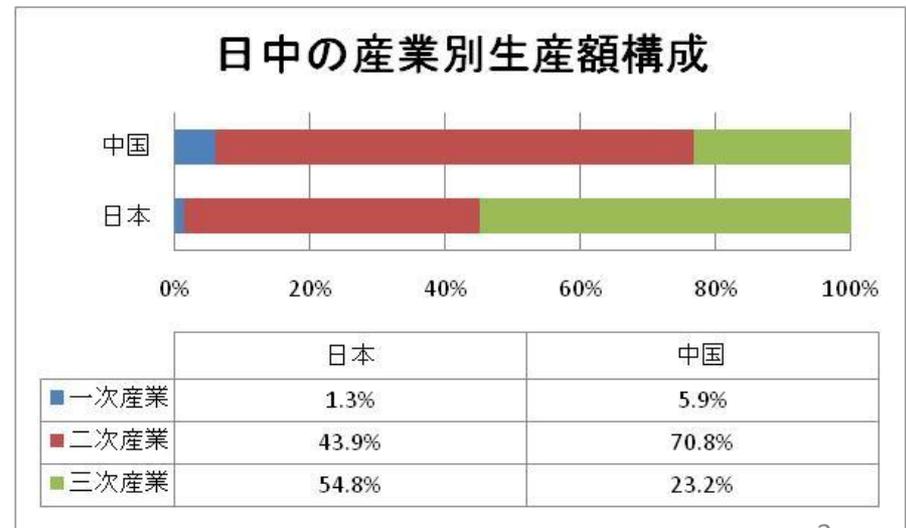
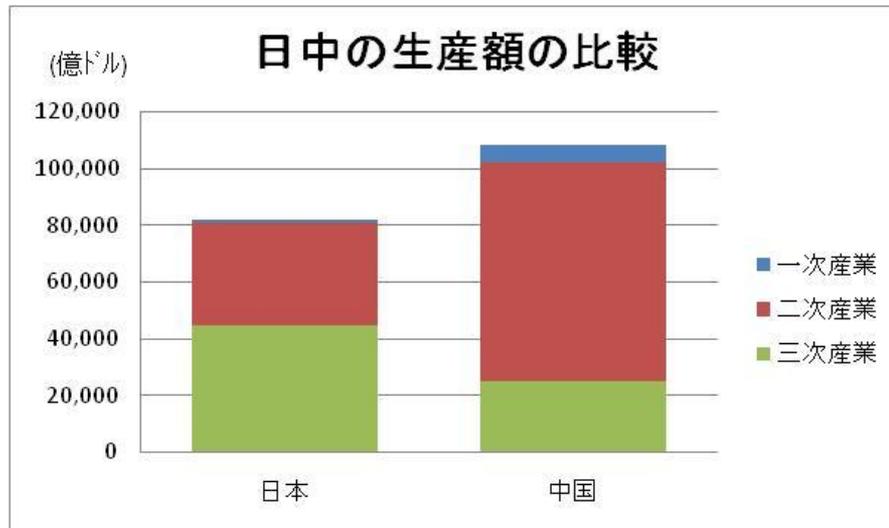
注3 \*\*\*ROW向け輸出には調整項を含む

注4 \*\*\*\*ROW向け輸出には調整項、其の他を含む

## 2.日中の産業別生産額の比較

### ○日中の一次、二次、三次産業の比較

- 2007年の日本及び中国の産業別生産額構成比を、一次、二次、三次産業別に分けてみると、日本では一次が1.3%、二次が43.9%、三次が54.8%であるのに対し、中国では一次が5.9%、二次が70.8%、三次が23.2%。
- 日本では一次産業の割合がほとんどなく、三次産業が過半を占めているのに対し、中国では二次産業が全産業の7割と突出している。



# 2.日中の産業別生産額の比較

表2 日中の産業別生産額の比較

構成比5%以上に網かけ

	生産額(億ドル)		構成比(%)	
	日本	中国	日本	中国
1 農林業	948	5,844	1.16%	5.39%
2 漁業	145	586	0.18%	0.54%
3 鉱業	86	3,839	0.11%	3.54%
4 食料品	3,029	5,508	3.70%	5.08%
5 繊維・衣服・革製品	419	5,772	0.51%	5.32%
6 製材・木製品・紙・印刷	1,685	3,053	2.06%	2.81%
7 化学製品	2,608	5,977	3.18%	5.51%
8 プラスチック・ゴム製品	1,259	2,244	1.54%	2.07%
9 石油・石炭製品	1,961	2,799	2.39%	2.58%
10 窯業・土石製品	636	3,001	0.78%	2.77%
11 鉄鋼・非鉄・金属製品	3,888	10,390	4.75%	9.58%
12 一般機械	3,394	5,311	4.14%	4.90%
13 民生用電子機器・通信機械	640	1,764	0.78%	1.63%
14 民生用電気機器・民生用機器	301	873	0.37%	0.80%
15 半導体・集積回路・その他の電子部品	1,462	1,836	1.78%	1.69%
16 産業用電気機器・その他の電気機器	1,219	2,783	1.49%	2.56%
17 電子計算機・同付属装置	348	2,071	0.43%	1.91%
18 自動車	2,131	1,488	2.60%	1.37%
19 自動車部品	1,955	1,758	2.39%	1.62%
20 その他輸送機械	529	1,097	0.65%	1.01%
21 精密機械	518	754	0.63%	0.69%
22 その他製造業(含、再生資源)	665	1,843	0.81%	1.70%
23 建設	5,197	8,249	6.35%	7.60%
24 電力・ガス・水道	2,013	4,441	2.46%	4.09%
25 商業	7,688	3,792	9.39%	3.50%
26 金融・保険・不動産	9,826	4,505	12.00%	4.15%
27 運輸	3,451	4,291	4.21%	3.96%
28 サービス	20,212	10,257	24.68%	9.45%
29 公務・公共サービス	3,297	2,364	4.03%	2.18%
30 分類不明	390	0	0.48%	0.00%
生産額合計	81,900	108,488	100.00%	100.00%

## ○産業別生産額の比較

➤ 生産額が全体の5%を上回る産業は、日本では大きい順に「28サービス」24.68%、「26金融・保険・不動産」12.00%、「25商業」9.39%、「23建設」6.35%の4つで、三次産業に集中しており、4つで全体の過半数を占めている。

➤ 中国で生産額が全体の5%を上回る産業は、大きい順に「11鉄鋼・非鉄・金属製品」9.58%、「28サービス」9.45%、「23建設」7.60%、「7化学製品」5.51%、「1農林業」5.39%、「5繊維・衣服・革製品」5.32%、「4食料品」5.08%の7つである。

## 2.日中の産業別生産額の比較

### ○日中の製造業の比較

- 製造業に関しては生産額が全体の5%を上回る部門が日本では皆無であるのに対して、中国では4つ含まれている。
- 製造業の生産額が全体に占める割合が、日本では35.0%であるのに対して中国では55.6%であり、中国では製造業が全産業の大きな部分を占めている。

	生産額(億ドル)		構成比(%)	
	日本	中国	日本	中国
製造業	28,646	60,321	35.0%	55.6%
生産額合計	81,900	108,488	100.0%	100.0%

# 3.日中の投入構造の比較

## ○日中の中間投入率の比較

- 日中の生産額に占める中間投入の割合をみると、日本は48.9%、中国は67.8%で、中国は日本より18.9ポイント高い。
- 中間投入総計に対する自国財と輸入財の割合をみると、日本では自国財が86.3%、輸入財が13.8%、中国では自国財が87.8%、12.2%で、日本のほうが若干輸入財に頼っている傾向。

表3 日中の投入構造の比較

(単位:億ドル)

	日本	中国
中間投入総計	40,026	73,501
自国財	34,523	64,533
相手国財	558	1,097
ROW等	4,945	7,872
粗付加価値合計	41,874	34,987
雇用者所得	23,053	14,472
その他付加価値	18,821	20,515
国内生産額	81,900	108,488

	日本	中国
中間投入総計	48.9%	67.8%
自国財	42.2%	59.5%
相手国財	0.7%	1.0%
ROW等	6.0%	7.3%
粗付加価値合計	51.1%	32.2%
雇用者所得	28.1%	13.3%
その他付加価値	23.0%	18.9%
国内生産額	100.0%	100.0%

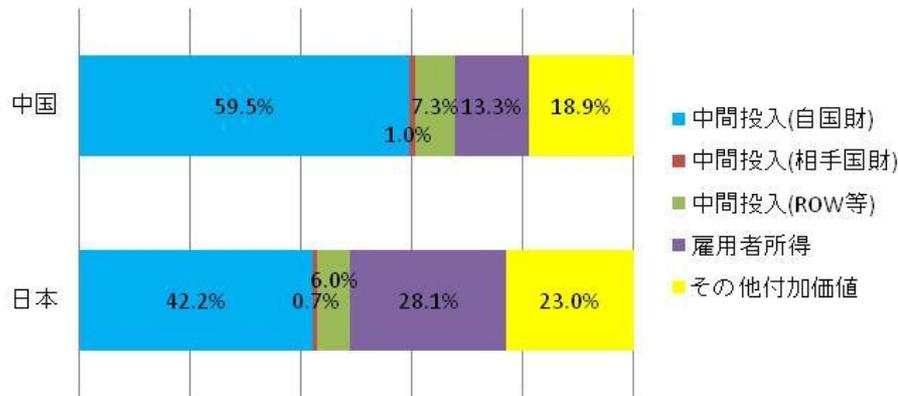
注: ROW等は、ROWからの輸入品、国際運賃・保険料、輸入税を含む。

# 3.日中の投入構造の比較

## ○日中の粗付加価値率の比較

- 生産額に占める粗付加価値額の割合をみると、日本は51.1%、中国は32.2%。
- 粗付加価値合計に対する雇用者所得とその他付加価値の割合をみると、日本では雇用者所得が55.1%、その他付加価値が44.9%、中国では雇用者所得が41.4%、その他付加価値が58.6%で、日中では付加価値に占める雇用者所得とその他付加価値の比率が逆転している。

日中の投入構造の比較



	日本	中国	
中間投入総計	100.0%	100.0%	中間投入総額に対する割合
自国財	86.3%	87.8%	
相手国財	1.4%	1.5%	
ROW等	12.4%	10.7%	
粗付加価値合計	100.0%	100.0%	粗付加価値合計に対する割合
雇用者所得	55.1%	41.4%	
その他付加価値	44.9%	58.6%	
国内生産額	100.0%	100.0%	

# 4.日中の産業別投入構造の比較

## ○産業別中間投入

- 産業別に中間投入率をみると、日本は一次が49.4%、二次が65.9%、三次が35.2%となっている。一方、中国は一次が41.4%、二次が77.0%、三次が46.3%。
- 日中の中間投入率の差をみると、一次では日本のほうが8.0ポイント高く、二次と三次ではそれぞれ中国のほうが11.1ポイント高く、全体では中国のほうが18.9ポイント高い。

表4 日中の産業別投入構造(一次、二次、三次産業別)の比較

	日本				中国				日中の差(日本-中国)			
	一次	二次	三次	合計	一次	二次	三次	合計	一次	二次	三次	合計
中間投入総計	49.4%	65.9%	35.2%	48.9%	41.4%	77.0%	46.3%	67.8%	8.0%	-11.1%	-11.1%	-18.9%
粗付加価値計	50.6%	34.1%	64.8%	51.1%	58.6%	23.0%	53.7%	32.2%	-8.0%	11.1%	11.1%	18.9%
雇用者所得	6.6%	18.6%	36.3%	28.1%	55.6%	7.9%	19.2%	13.3%	-49.0%	10.7%	17.1%	14.8%
その他の付加価値	44.1%	15.5%	28.5%	23.0%	3.0%	15.1%	34.4%	18.9%	41.1%	0.4%	-6.0%	4.1%
国内生産額	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

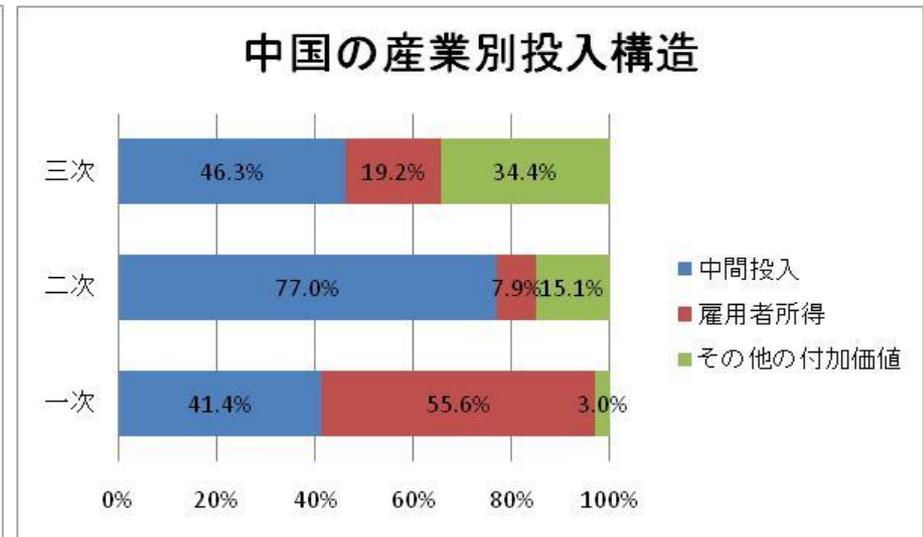
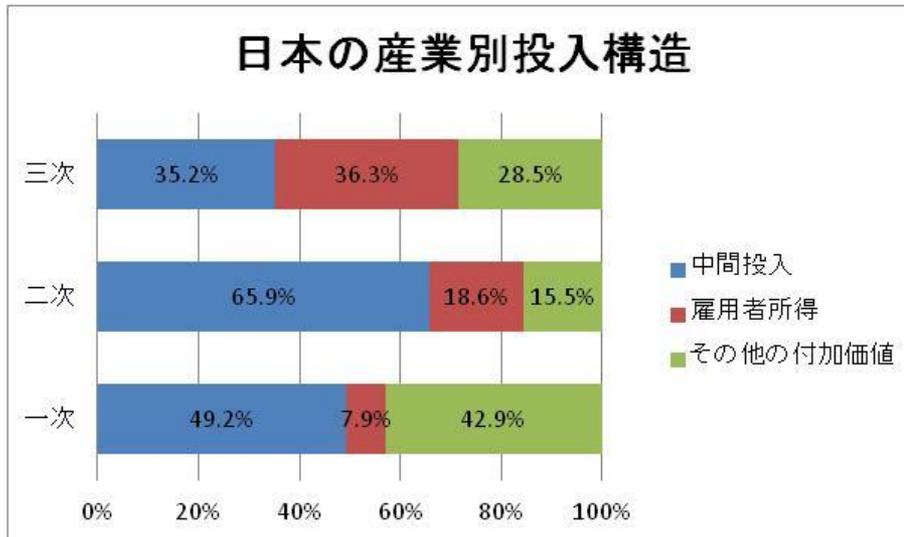
※ただし、一次、二次、三次の区分けは以下のとおり

一次産業	二次産業	三次産業
A01 農林業	A16 産業用電気機器・その他の電気機器	
A02 漁業	A17 電子計算機・同付属装置	
A03 鉱業	A18 自動車	
A04 食料品	A19 自動車部品	
A05 繊維・衣服・革製品	A20 その他輸送機械	
A06 製材・木製品・紙・印刷	A21 精密機械	
A07 化学製品	A22 その他製造業(含、再生資源)	
A08 プラスチック・ゴム製品	A23 建設	
A09 石油・石炭製品	A24 電力・ガス・水道	
A10 窯業・土石製品	A25 商業	
A11 鉄鋼・非鉄・金属製品	A26 金融・保険・不動産	
A12 一般機械	A27 運輸	
A13 民生用電子機器・通信機械	A28 サービス	
A14 民生用電気機器・民生用機器	A29 公務・公共サービス	
A15 半導体・集積回路・その他の電子部品	A30 分類不明	

# 4.日中の産業別投入構造の比較

## ○産業別粗付加価値

- 産業別に粗付加価値の構成をみると、日本では一次で雇用者所得率が6.6%と非常に低く、二次、三次では雇用者所得率がその他の付加価値率に比べ高くなっている。
- 一方、中国では一次で雇用者所得率が55.6%と非常に高く、二次、三次では雇用者所得率よりその他の付加価値率のほうが高くなっている。この傾向は日本と逆である。



# 5.日中の最終需要構成の比較

## ○国内最終需要規模の比較

- 国内最終需要額は、日本が4兆1767億ドル、中国が3兆1921億ドルで、日本は中国の1.31倍の需要規模。

## ○国内最終需要額の項目別構成比の比較

- 国内最終需要額の項目別構成比を比較すると、日本では民間消費支出が58.1%と最も高いのに対して、中国では固定資本形成が43.4%と最も高く、最終需要構成に相違がみられる。

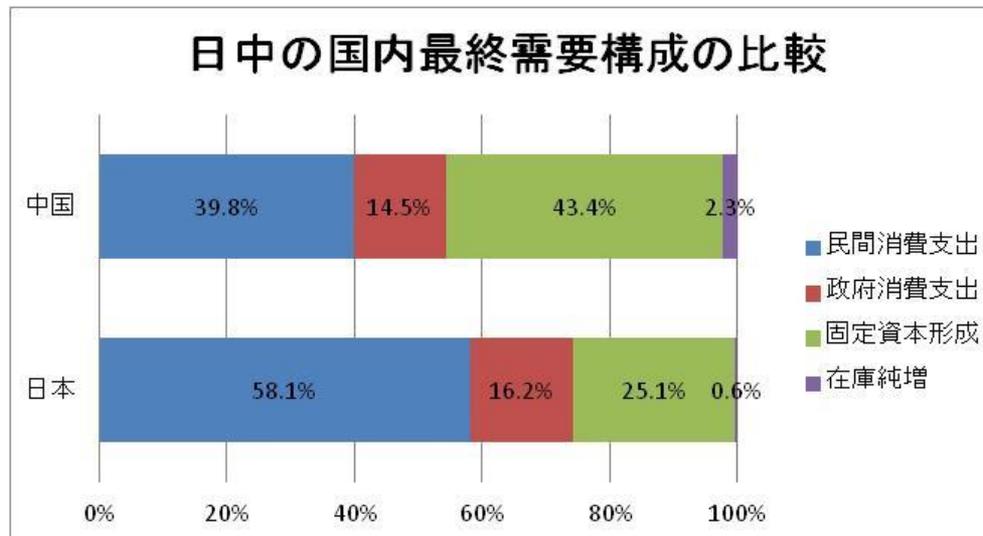
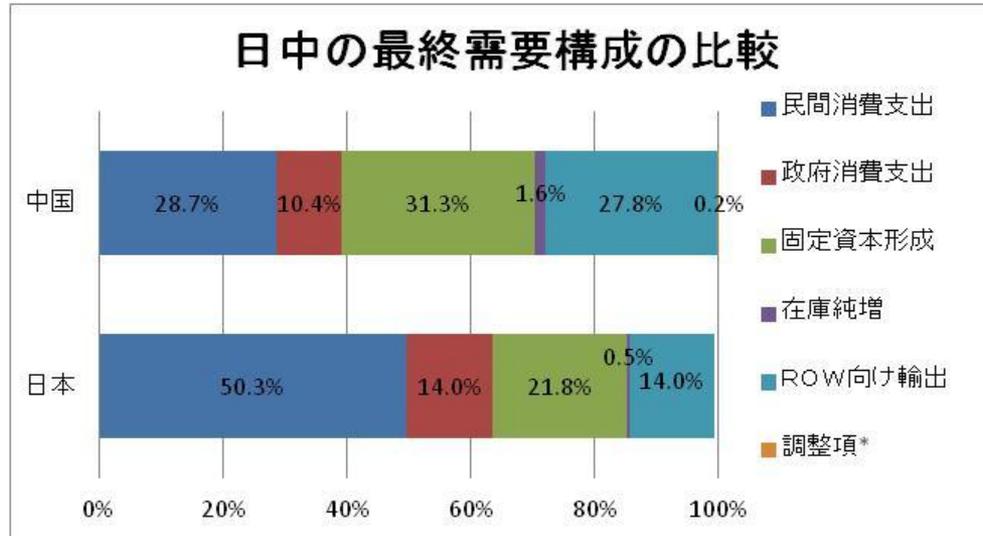
## ○最終需要構成の比較

- 最終需要額の項目別構成比を比較すると、日本ではROW輸出が14.0%であるのに対し、中国では27.8%と日本の約2倍の構成。

表5 日中の最終需要構成の比較

		民間消費支出	政府消費支出	固定資本形成	在庫純増	国内最終需要計	ROW向け輸出	調整項*	最終需要計
日本	金額(億ドル)	24,270	6,771	10,492	233	41,767	6,750	-291	48,225
	最終需要構成比	50.3%	14.0%	21.8%	0.5%	86.6%	14.0%	-0.6%	100.0%
	国内最終需要構成比	58.1%	16.2%	25.1%	0.6%	100.0%			
中国	金額(億ドル)	12,706	4,628	13,866	721	31,921	12,321	70	44,312
	最終需要構成比	28.7%	10.4%	31.3%	1.6%	72.0%	27.8%	0.2%	100.0%
	国内最終需要構成比	39.8%	14.5%	43.4%	2.3%	100.0%			

# 5. 日中の最終需要構成の比較



# 6.日中の輸入構造の比較

## ○日中の輸入構造の比較

- 2007年の輸入額は、日本は7742億円、中国は1兆626億円で、中国は日本の1.37倍の規模。国内需要に占める割合はそれぞれ9.5%と10.1%で、日本のほうが0.6ポイント低い。
- 中間需要向けの輸入は、日本は5503億円、中国は8969億円で、中国は日本の1.63倍の規模。中間投入に占める割合はそれぞれ13.7%と12.2%で、日本のほうが1.5ポイント高い。
- 最終需要向け輸入は、日本が2239億円、中国は1658億円で、中国は日本の0.74倍の規模。国内最終需要に占める割合は日本が5.4%、中国が5.2%でほぼ同じ。

表6 日中の輸入構造の比較

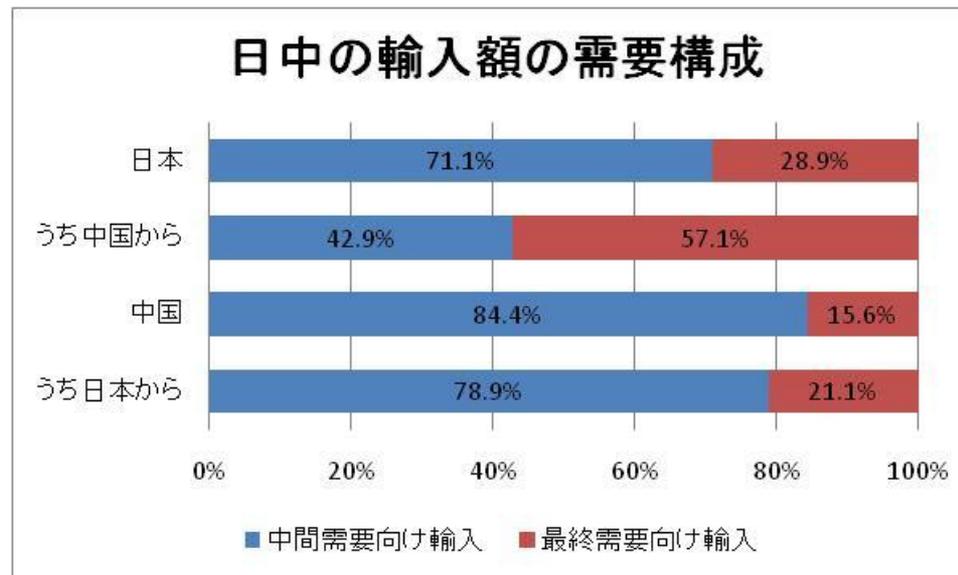
(単位:億ドル)

	輸入額計		中間需要向け輸入		最終需要向け輸入		国内需要額	中間投入額	国内最終需要額
		国内需要額に占める割合		中間投入に占める割合		国内最終需要に占める割合			
① 日本	7,742	9.5%	5,503	13.7%	2,239	5.4%	81,793	40,026	41,767
うち中国から	1,302	1.6%	558	1.4%	744	1.8%			
② 中国	10,626	10.1%	8,969	12.2%	1,658	5.2%	105,422	73,501	31,921
うち日本から	1,390	1.3%	1,097	1.5%	293	0.9%			
差分(①-②)	-2,885	-0.6%	-3,466	1.5%	581	0.2%	-23,629	-33,475	9,846
	-88	0.3%	-539	-0.1%	450	0.9%			
倍率(②/①)	1.37		1.63		0.74		1.29	1.84	0.76
	1.07		1.97		0.39				

# 6.日中の輸入構造の比較

## ○日中の輸入額の構成

- 日本の輸入額の構成をみると、輸入全体では中間需要向けが71.1%、最終需要向けが28.9%であるのに対し、対中輸入については中間需要向けが42.9%、最終需要向けが57.1%。対中輸入品は最終需要向けが多い。
- 中国の輸入額の構成をみると、輸入全体では中間需要向けが84.4%、最終需要向けが15.6%であるのに対し、対日輸入については中間需要向けが78.9%、最終需要向けが21.1%となっている。日本からの輸入財は主に中間需要向け。



# 7-1. 日中の最終需要項目別生産誘発額

○ 自国及び相手国への生産誘発額

➤ 日中各国の最終需要が誘発した自国及び相手国の生産誘発額をみると、日本の最終需要額4兆8225億ドルは、日本の生産を7兆9257億ドル誘発し、中国の生産を3183億ドル誘発(生産誘発額合計の3.86%を占める)、合計で8兆2439億ドルの生産を誘発。

➤ 一方、中国の最終需要額4兆4312億ドルは、中国の生産を10兆5306億ドル誘発し、日本の生産を2642億ドル誘発(生産誘発額合計の2.45%を占める)し、合計で10兆7949億ドル誘発。

➤ 金額規模で見ると、日本の最終需要によって誘発された中国の生産は、中国の最終需要によって誘発された日本の生産の1.20倍。

表7-1 日中の最終需要項目別生産誘発額

(単位: 億ドル)

需要発生地域	最終需要額	生産誘発額			
		合計	日本内	中国内	
日本	民間消費支出	24,270	37,506	35,817	1,689
	政府消費支出	6,771	11,183	11,081	102
	固定資本形成	10,492	19,565	18,598	967
	在庫純増	233	485	462	23
	国内最終需要計	41,767	68,739	65,958	2,781
	ROW輸出	6,750	14,288	13,867	422
	調整項	-291	-588	-567	-21
	最終需要計	48,225	82,439	79,257	3,182
		100.00%	96.14%	3.86%	
中国	民間消費支出	12,706	27,949	420	27,529
	政府消費支出	4,628	10,102	106	9,996
	固定資本形成	13,866	37,023	1,168	35,855
	在庫純増	721	1,788	30	1,758
	国内最終需要計	31,921	76,863	1,724	75,139
	ROW輸出	12,321	31,353	935	30,419
	調整項*	70	-267	-17	-250
	最終需要計	44,312	107,949	2,642	105,306
		100.00%	2.45%	97.55%	
合計	92,537	190,388	81,900	108,488	

注1 \*中国の調整項には其他を含む

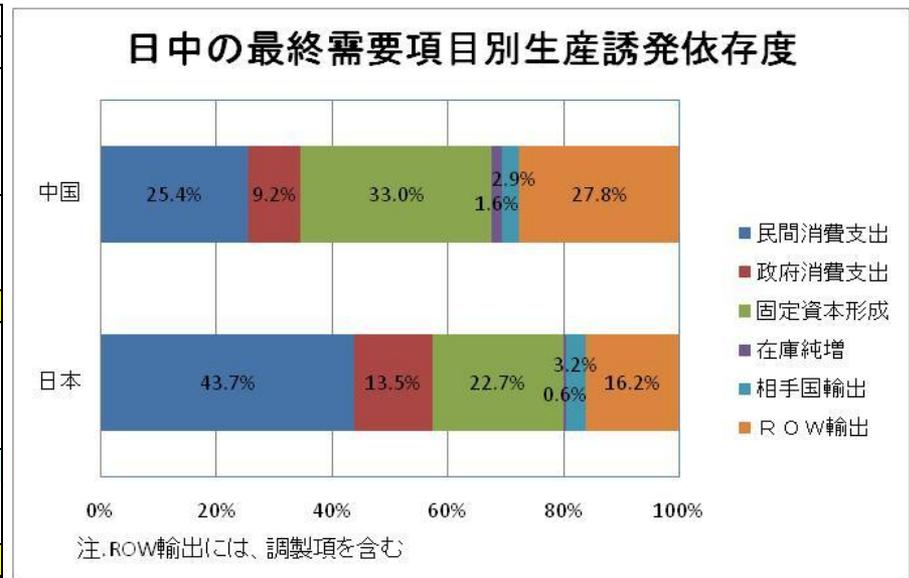
# 7-2.日中の最終需要項目別生産誘発依存度

## ○日中の最終需要項目別生産誘発依存度の比較

- 日本の生産がどのような最終需要に依存しているかをみると、日本の生産は国内最終需要に80.5%依存し、海外需要には19.5%依存。内需の内訳をみると、民間消費支出への依存度が最も高く43.7%。ついで、固定資本形成、政府消費支出の順で依存度が高い。
- 一方、中国の生産は、国内最終需要に69.3%依存し、海外需要には30.7%依存。日本と比較すると海外需要への依存度が高い。内需の内訳をみると、固定資本形成への依存度が最も高く33.0%。ついで、民間消費支出、政府消費支出の順で依存度が高く、日本とは異なる。

表7-2 日中の最終需要項目別生産誘発依存度

需要発生地域		構成比		生産誘発依存度	
		日本内	中国内	日本内	中国内
日本	民間消費支出	95.5%	4.5%	43.7%	1.6%
	政府消費支出	99.1%	0.9%	13.5%	0.1%
	固定資本形成	95.1%	4.9%	22.7%	0.9%
	在庫純増	95.2%	4.8%	0.6%	0.0%
	国内最終需要計	96.0%	4.0%	80.5%	2.6%
	ROW輸出	97.0%	3.0%	16.9%	0.4%
	調整項	96.4%	3.6%	-0.7%	0.0%
	最終需要計	96.1%	3.9%	96.8%	2.9%
中国	民間消費支出	1.5%	98.5%	0.5%	25.4%
	政府消費支出	1.0%	99.0%	0.1%	9.2%
	固定資本形成	3.2%	96.8%	1.4%	33.0%
	在庫純増	1.7%	98.3%	0.0%	1.6%
	国内最終需要計	2.2%	97.8%	2.1%	69.3%
	ROW輸出	3.0%	97.0%	1.1%	28.0%
	調整項*	6.4%	93.6%	0.0%	-0.2%
	最終需要計	2.4%	97.6%	3.2%	97.1%
合計		2.4%	97.6%	100.0%	100.0%



注1 \*中国の調整項には其他を含む

# 7-3. 日中の最終需要項目別生産誘発係数

○自国及び相手国への生産誘発係数

- 自国に1単位の需要が発生した場合、自国及び相手国の生産がどれだけ誘発されるかをみると、日本の1単位の需要によって日中の生産は1.7095誘発される。
- 一方、中国の1単位の需要によって日中の生産は2.4361誘発される。
- 生産誘発係数は中国のほうが日本よりも圧倒的に大きい。

表7-3 日中の最終需要項目別生産誘発係数

需要発生地域		最終需要額 (億ドル)	生産誘発係数		
			合計	日本内	中国内
日 本	民間消費支出	24,270	1.5453	1.4757	0.0696
	政府消費支出	6,771	1.6516	1.6365	0.0151
	固定資本形成	10,492	1.8648	1.7726	0.0922
	在庫純増	233	2.0825	1.9830	0.0995
	国内最終需要計	41,767	1.6458	1.5792	0.0666
	ROW輸出	6,750	2.1168	2.0543	0.0625
	調整項	-291	2.0184	1.9460	0.0724
	最終需要計	48,225	1.7095	1.6435	0.0660
中 国	民間消費支出	12,706	2.1996	0.0331	2.1666
	政府消費支出	4,628	2.1829	0.0229	2.1600
	固定資本形成	13,866	2.6701	0.0842	2.5859
	在庫純増	721	2.4804	0.0417	2.4387
	国内最終需要計	31,921	2.4079	0.0540	2.3539
	ROW輸出	12,321	2.5447	0.0759	2.4689
	調整項*	70	-3.8143	-0.2429	-3.5714
	最終需要計	44,312	2.4361	0.0596	2.3765

注1 \*中国の調整項には其他を含む

# 7-3.日中の最終需要項目別生産誘発係数

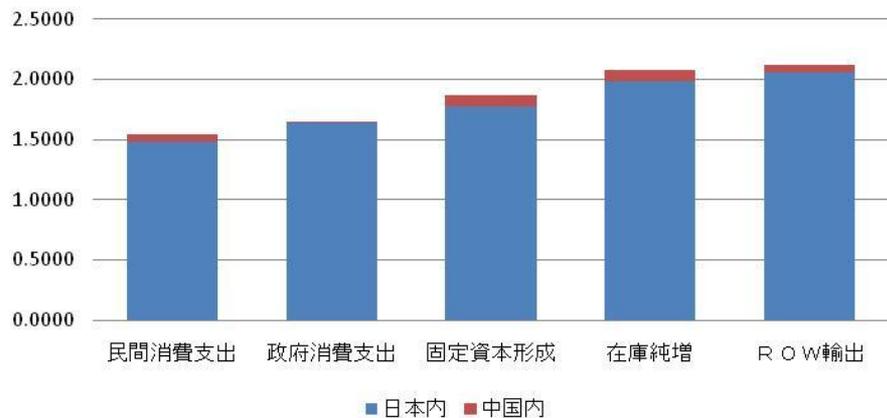
## ○自国への生産誘発係数

- 自国に1単位の需要が発生した場合、自国の生産がどれだけ誘発されるかをみると、日本の生産は1.6435誘発される。
- これに対して、中国の1単位の需要によって中国の生産は2.3765誘発される。

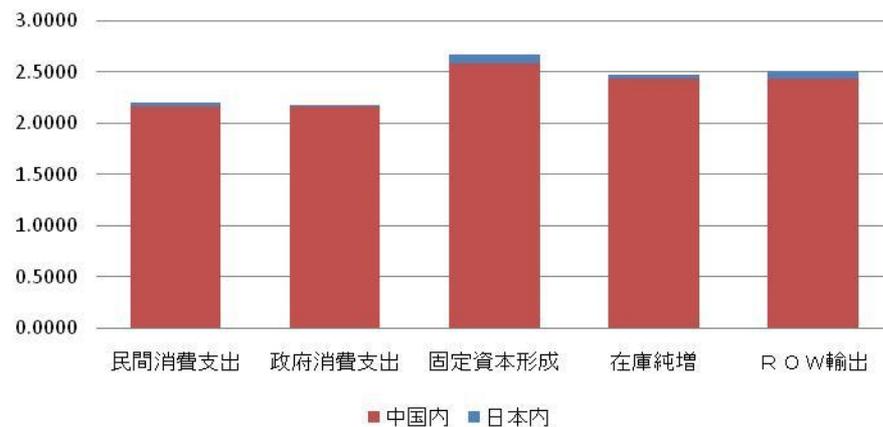
## ○相手国への生産誘発係数

- 自国に1単位の需要が発生した場合、相手国の生産がどれだけ誘発されるかをみると、日本の1単位の需要は中国の生産を0.0660誘発している。
- これに対して、中国の1単位の需要は日本の生産を0.0596誘発している。
- 自国の1単位の需要による相手国への生産誘発はほぼ変わらない。

日本の最終需要項目別生産誘発係数



中国の最終需要項目別生産誘発係数



# 8. 日中の部門別生産波及係数の比較

## ○日中の生産波及係数

- 日中の生産波及係数をみると、日本国内での生産波及係数は全産業平均で1.9136であり、中国は2.4050で、中国のほうが0.4914ポイント大きい。
- 製造業でみると、日本は2.0419で、中国は2.6007で、中国のほうが0.5589ポイント大きい。
- 一方、相手国への生産波及係数をみると、日本の中国への生産波及係数は全産業平均で0.0518、製造業平均では0.0718、中国の日本への生産波及係数は全産業平均で0.0572、製造業平均では0.0799である。相手国への生産波及係数は、全産業平均、製造業平均それぞれ0.0054、0.0081だけ、中国の日本への影響のほうが大きい。

# 8.日中の部門別生産波及係数の比較

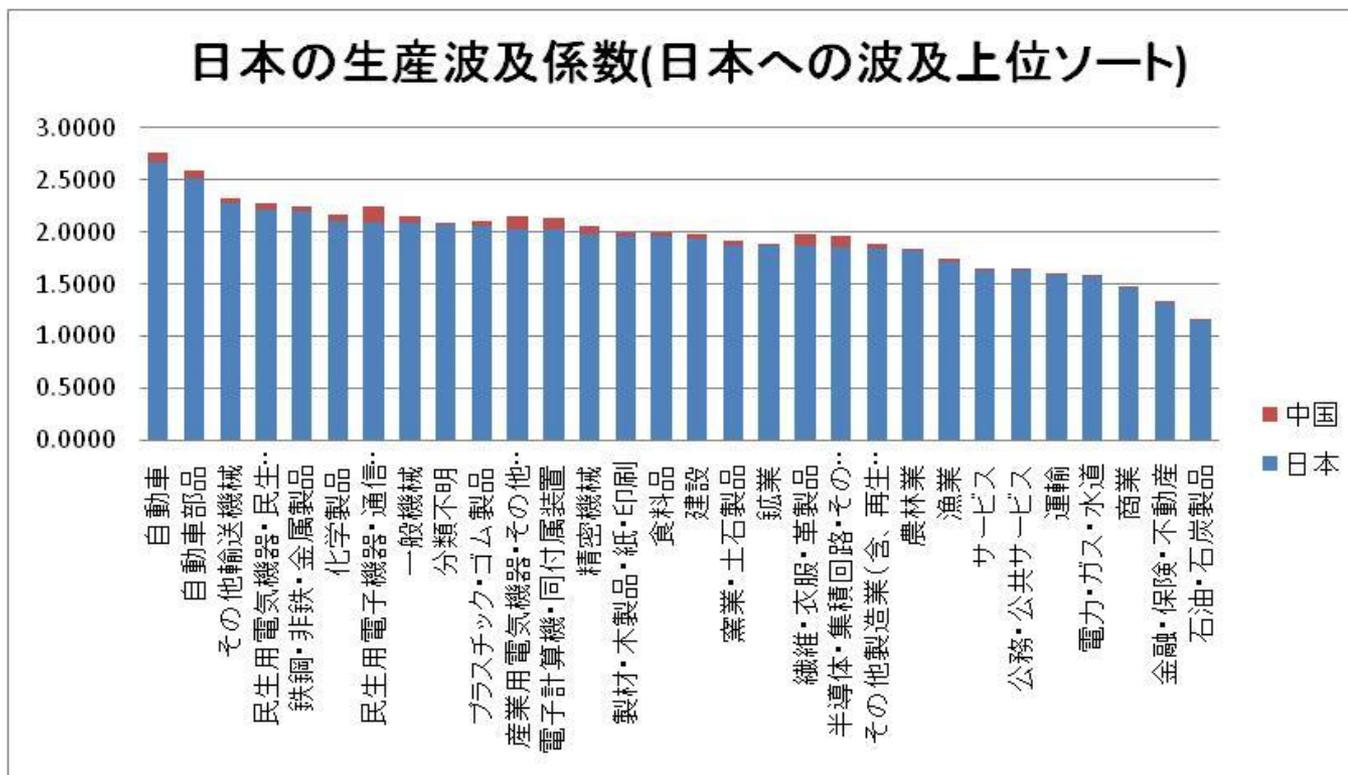
表8 日中の産業別生産波及係数(逆行列係数の列和)

	日本		中国		日中の波及係数の差(中一日)	
	日本	中国	中国	日本	自国	相手国
1 農林業	1.8208	0.0208	1.9491	0.0115	0.1282	-0.0092
2 漁業	1.7169	0.0254	1.8932	0.0104	0.1763	-0.0150
3 鉱業	1.8730	0.0186	2.2822	0.0260	0.4091	0.0074
4 食料品	1.9598	0.0372	2.5437	0.0154	0.5839	-0.0217
5 繊維・衣服・革製品	1.8693	0.1180	2.9371	0.0445	1.0678	-0.0735
6 製材・木製品・紙・印刷	1.9687	0.0338	2.7363	0.0401	0.7675	0.0063
7 化学製品	2.1114	0.0588	2.6682	0.0661	0.5568	0.0073
8 プラスチック・ゴム製品	2.0519	0.0606	2.7159	0.0890	0.6640	0.0284
9 石油・石炭製品	1.1473	0.0095	2.2434	0.0178	1.0961	0.0083
10 窯業・土石製品	1.8770	0.0356	2.7660	0.0312	0.8890	-0.0044
11 鉄鋼・非鉄・金属製品	2.2016	0.0516	2.8251	0.0404	0.6235	-0.0112
12 一般機械	2.0892	0.0626	2.8344	0.0788	0.7453	0.0163
13 民生用電子機器・通信機械	2.0909	0.1563	2.0915	0.1368	0.0006	-0.0195
14 民生用電気機器・民生用機器	2.2175	0.0656	2.7792	0.0945	0.5617	0.0288
15 半導体・集積回路・その他の電子部品	1.8618	0.1003	2.4034	0.1336	0.5416	0.0333
16 産業用電気機器・その他の電気機器	2.0315	0.1231	2.8181	0.0977	0.7866	-0.0254
17 電子計算機・同付属装置	2.0287	0.1105	1.7827	0.1311	-0.2460	0.0206
18 自動車	2.6752	0.0815	3.2057	0.1203	0.5305	0.0388
19 自動車部品	2.5196	0.0697	2.9951	0.0826	0.4755	0.0130
20 その他輸送機械	2.2744	0.0535	2.7465	0.0924	0.4721	0.0389
21 精密機械	1.9797	0.0857	2.0281	0.1616	0.0484	0.0759
22 その他製造業(含、再生資源)	1.8396	0.0505	2.2932	0.0440	0.4536	-0.0065
23 建設	1.9329	0.0430	2.9772	0.0355	1.0443	-0.0075
24 電力・ガス・水道	1.5662	0.0147	2.7553	0.0257	1.1891	0.0110
25 商業	1.4590	0.0077	1.8481	0.0145	0.3891	0.0068
26 金融・保険・不動産	1.3227	0.0042	1.5040	0.0085	0.1813	0.0043
27 運輸	1.5831	0.0103	2.1922	0.0197	0.6091	0.0094
28 サービス	1.6408	0.0155	2.2770	0.0271	0.6362	0.0116
29 公務・公共サービス	1.6283	0.0143	2.0592	0.0196	0.4309	0.0053
30 分類不明	2.0706	0.0153	1.0000	0.0000	-1.0706	-0.0153
合計	57.4095	1.5541	72.1511	1.7166	14.7416	0.1624
全産業平均	1.9136	0.0518	2.4050	0.0572	0.4914	0.0054
製造業平均	2.0419	0.0718	2.6007	0.0799	0.5589	0.0081

# 8.日中の部門別生産波及係数の比較

## ○日本の産業別生産波及係数

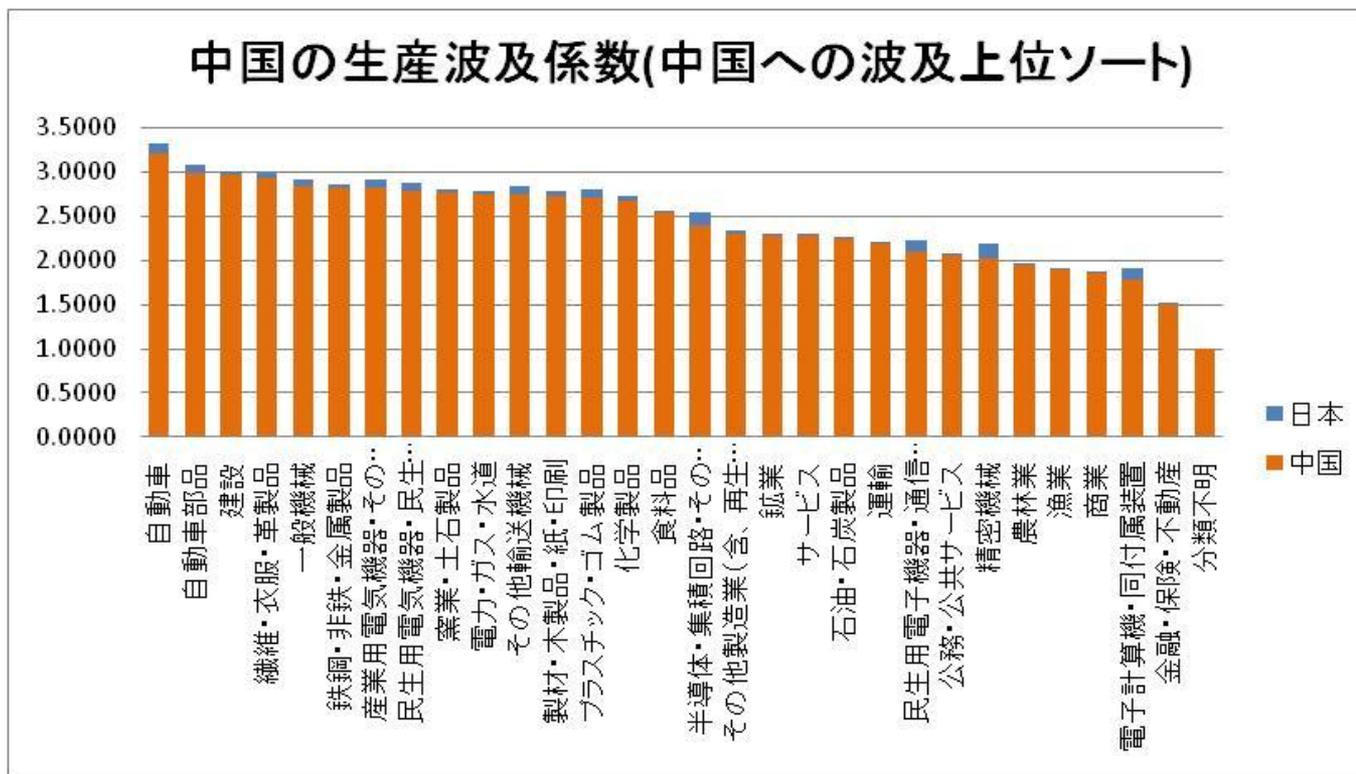
➤ 日本の産業別生産波及係数のなかで、2.5を超える部門は「18自動車」と「19自動車部品」の2部門である。ついで大きいのは、「20その他の輸送機械」、「14民生用電気機器・民生用機器」、「11鉄鋼・非鉄・金属製品」といった部門で高くなっている。



# 8.日中の部門別生産波及係数の比較

## ○中国の産業別生産波及係数

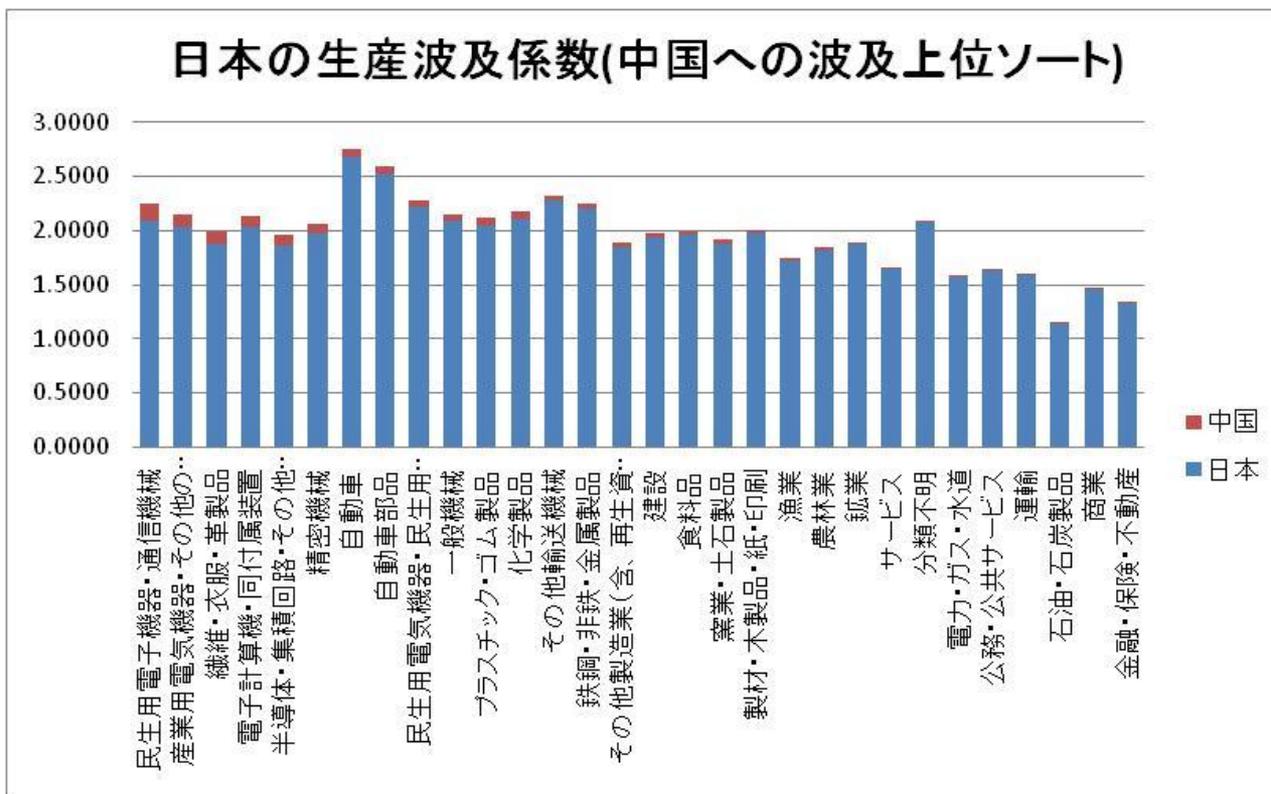
➤ 中国の産業別生産波及係数は総じて高く、2.5を越える部門は全部で15部門と多い。この中で特に生産波及係数が大きい部門は、「18自動車」で、生産波及係数は3を超えている。ついで、「19自動車部品」、「23建設」、「5繊維・衣服・革製品」が2.9を超えている。



# 8.日中の部門別生産波及係数の比較

○日本の需要による中国への生産波及係数

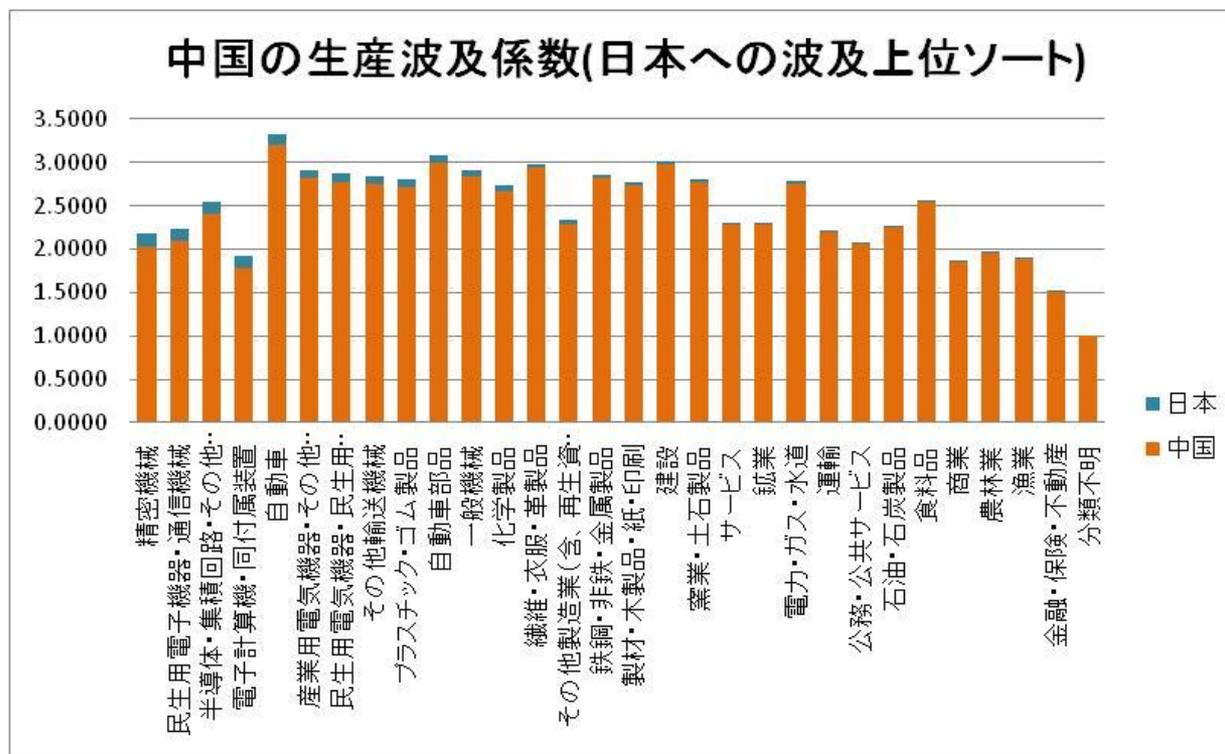
➤ 中国産業への生産波及係数が大きいものは、「13民生用電子機器・通信機械」、「16産業用電気機器・その他の電気機器」、「5繊維・衣服・革製品」、「17電子計算機・同付属装置」といった部門である。



# 8.日中の部門別生産波及係数の比較

○中国の需要による日本への生産波及係数

➤ 日本の産業への生産波及係数が大きいものは、「21精密機械」、「13民生用電子機器・通信機械」、「16半導体・集積回路・その他の電子部品」、「17電子計算機・同付属装置」、「18自動車」といった部門である。



# まとめ

- 生産額は、中国は日本の約1.3倍の生産規模であるが、粗付加価値額は、日本のほうが中国の約1.2倍の規模となっており、日本のほうが付加価値率が高い。
- 中国の二次産業の生産額は全体の約7割と高い。
- 日本のほうが中間財に占める輸入財の割合が高く、また所得分配率も日本ほうが高い。
- 国内最終需要額の項目別構成比を比較すると、日本では民間消費支出が58.1%と最も高いのに対して、中国では固定資本形成が43.4%と最も高く、最終需要構成に相違。
- 日中の輸入品の需要先をみると、日本の対中輸入品は最終需要向けが多く、中国の対日輸入品は主に中間需要向けが多い。
- 日本の生産がどのような最終需要に依存しているかをみると、日本の生産は国内最終需要に80.5%依存し、海外需要には19.5%依存。一方、中国の生産は、国内最終需要に69.3%依存し、海外需要には30.7%依存。
- 自国に1単位の需要が発生した場合、自国及び相手国の生産がどれだけ誘発されるかをみると、日本の需要により日中の生産は1.7095誘発、中国の需要により日中の生産は2.4361誘発と、中国の需要による生産波及効果のほうが大きい。
- 産業別生産波及係数は、日本では「18自動車」、「19自動車部品」、「20その他の輸送機械」、「14民生用電気機器・民生用機器」が上位。中国では「18自動車」「19自動車部品」、「23建設」、「5繊維・衣服・革製品」が上位。
- 日本の需要による中国産業への生産波及係数が大きいものは、「13民生用電子機器・通信機械」、「16産業用電気機器・その他の電気機器」、「5繊維・衣服・革製品」、「17電子計算機・同付属装置」の順。
- 中国の需要による日本産業への生産波及係数が大きいものは、「21精密機械」、「13民生用電子機器・通信機械」、「16半導体・集積回路・その他の電子部品」、「17電子計算機・同付属装置」の順。

ありがとうございました！